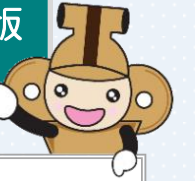


# 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2（2020）年度～令和4（2022）年度

概要版



## 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

本庄市では、平成28年3月、人口の将来展望や目標を示した「人口ビジョン」と、人口減少の克服と地方創生に重点を置く計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」といいます。）を策定し、各施策や事業に取り組んできました。

総合戦略策定後の本市の総人口は依然として減少傾向が続いているものの、人口ビジョンによる将来展望よりも緩やかな推移となっています。また、転入・転出動向についても近年は改善傾向にあり、総合戦略の各施策や事業の効果が徐々に現れてきているものと考えられます。

その一方で、平成30年将来推計人口<sup>\*1</sup>に基づく予測では、これまでの予測と比べて、総人口や年少人口<sup>\*2</sup>での改善が見られるものの、高齢化率<sup>\*3</sup>はさらに進行するものと推計されました。

このように、人口減少・少子高齢化の克服に向けては依然として厳しい状況が続いていることから、これらの課題解決に向けた施策や事業の継続した実施が必要です。そこで、新たな総合戦略を策定し、これまでの取組を強化するとともに、人口ビジョンが示す目標の達成に向けた各施策や事業の一層の充実・強化を図ることとします。

## 人口の将来展望【本庄市人口ビジョン（平成28年3月策定）】

**目標** 令和42年に5万人半ば程度の人口を維持  
令和42年までに年少人口を安定化し高齢化率のピークを40%未満に抑制

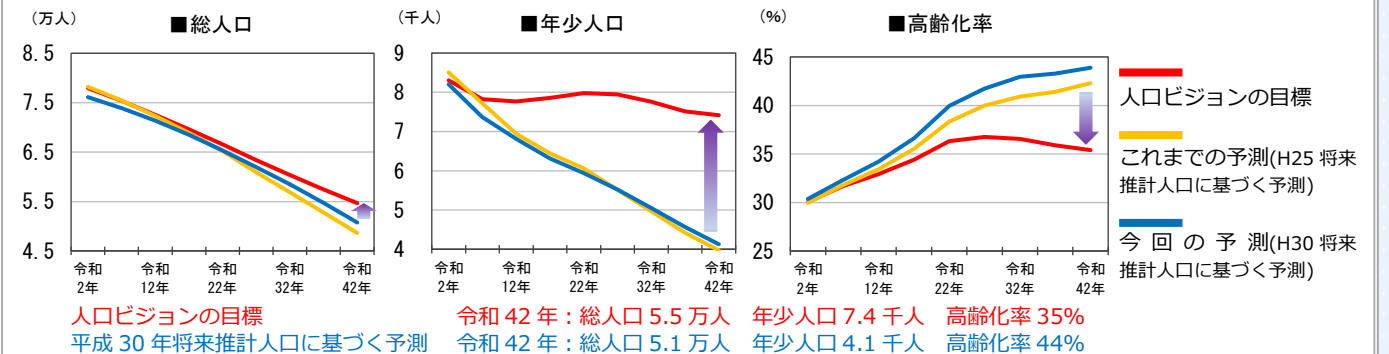
### 自然減の抑制に向けた目標

- ① 令和22年に合計特殊出生率1.81まで向上
- ② 令和42年に合計特殊出生率2.08まで向上

### 社会減の抑制に向けた目標

- ① 令和12年までに全世代で人口の移動均衡（若い世代の転出抑制、転入促進を中心に）

本庄市人口ビジョンの目標と将来推計人口に基づく予測の比較



## SDGsの達成に向けた取組

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）（以下「SDGs」といいます。）は、平成27（2015）年9月の国連サミットにおいて、先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として採択されたものです。この中で、令和12（2030）年までに達成すべき17の目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットが掲げられ、国際社会全体の課題として「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すこととされました。

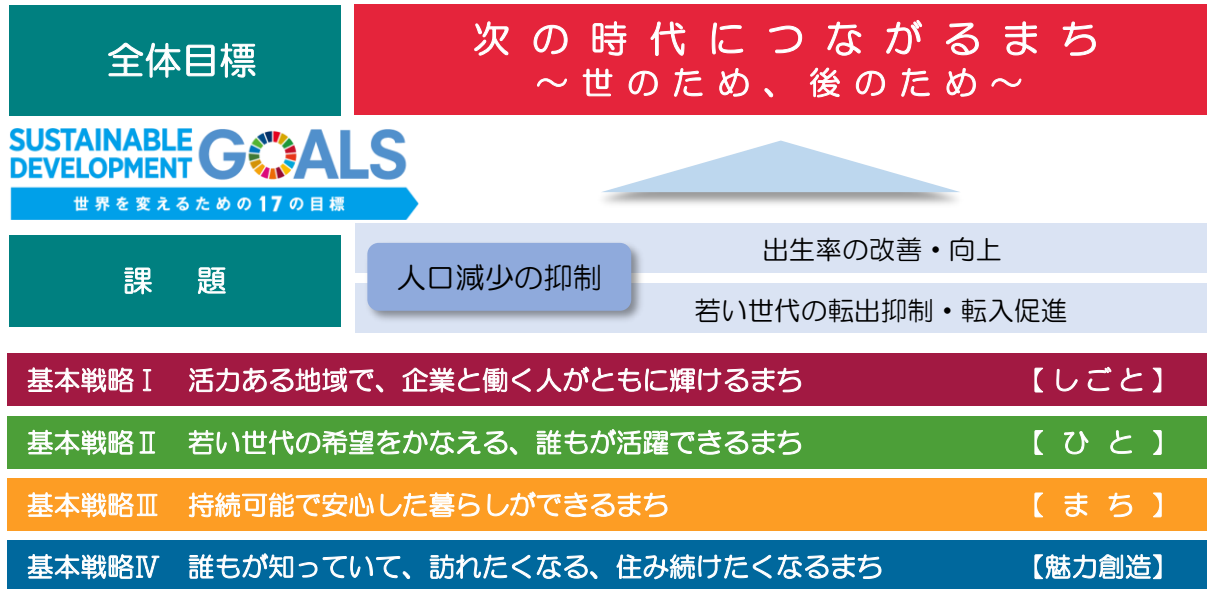
本市においても、総合戦略の全体目標を「次の時代につながるまち～世のため、後のため～」とし、各施策や事業に取り組んできました。これは、持続可能で、誰一人取り残さない社会の実現を目指すSDGsが掲げる目標と同様の方向性であることから、この考え方を新たな総合戦略に取り入れ、本市の各施策・事業について、それぞれが連携を図りながらSDGs達成に向けた取組を推進していきます。



\*1 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」 \*2 0～14歳までの人口 \*3 総人口に占める65歳以上の割合

## 新たな総合戦略の枠組み

新たな総合戦略では、『継続を力にする』という考えのもと、前総合戦略で根付いた意識や取組を継承しつつ、SDGsが掲げる目標の達成と、「住んで、仕事を持ち、家庭を築き、生き生きと暮らし続けることのできる、次の時代につながるまち」を目指し、引き続き、「次の時代につながるまち～世のため、後のため～」を全体目標として掲げるとともに、時代の流れや市民ニーズ等を踏まえ、以下の4つの基本戦略を定めました。



4つの基本戦略は、それぞれが起点となり、すべてが全体目標である「次の時代につながるまち～世のため、後のため～」につながるものであり、「多様な就業の場があることで、若い世代の転出が抑制される」「安心して子育てできる環境と安定した就労環境があることで、若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかなえられる」「多様な世代が参加し、活力と魅力あるまちが創造されていくことで、移住・定住が促進される」などの好循環を確立していくものです。



## 総合戦略の推進に向けて

総合戦略を着実に推進していくため、各施策・事業に設定した重要業績評価指標（KPI）をもとに、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）による進捗管理を行います。

また、市民をはじめとした産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等の外部委員にも参画いただき、客観的かつ地域・市民目線での評価・検証を行います。

発行 本庄市 企画財政部 企画課 埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号 TEL 0495-25-1157 FAX 0495-21-8499

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略と本庄市人口ビジョンは、市ホームページからご覧いただけます。▶

※右のQRコードは、令和2年9月末までご利用いただけます。




本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 4つの基本戦略及び施策


基本戦略Ⅰ 活力ある地域で、企業と働く人がともに輝けるまち 【しごと】

新たな転入者を呼び込み、また、市内からの転出者を抑制するためには、職住近接で安定した雇用の場を確保することが重要です。そのため、「企業誘致」や「雇用対策」を重点とし、これまでの取組を加速していきます。また、企業と働く人がともに輝けるまちを目指し、「市内産業の更なる振興」や「地元企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進」を促進していきます。

数値目標	基準値	目標値
製造業従業者数	7,430人(平成30年)	7,507人(令和4年)
商業(卸売業・小売業)従業者数	6,067人(平成28年)	6,115人(令和4年)
農業産出額	95.4億円(平成29年)	100.4億円(令和4年)

主要施策 **経済・雇用** 

個別施策 (1)企業誘致の推進 (2)農業の振興 (3)商工業の振興 (4)雇用対策

主要施策 **働き方** 

個別施策 (5)ワーク・ライフ・バランスの推進(●)

基本戦略Ⅱ 若い世代の希望をかなえる、誰もが活躍できるまち 【ひと】

出生率の改善・向上や若い世代の転出抑制と転入促進を図るためには、安心して子どもを生み育てるとともに、地域の多様な支え合いにより暮らしていくことができる環境整備が重要です。そのため、引き続き「結婚・出産・子育て支援」の充実を図るとともに、市民ニーズも高く、市の取組課題のひとつでもある保健・医療の取組を加速していきます。また、誰もが活躍できるまちの実現に向け、関係機関・部署間の連携を強化するとともに、地域を牽引する人材の育成を促進していきます。

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率※4	1.38(平成30年)	1.40(令和4年)
年少人口(0~14歳)数	9,241人(平成31年)	8,883人(令和4年)

主要施策 **結婚・出産・子育て** 

個別施策 (6)出会いの創出(◎) (7)出産に向けた支援 (8)保育サービスの充実(◎) (9)児童の健全育成の充実 (10)子育てに関する相談・情報提供の充実 (11)経済的支援の推進(◎) (12)地域の子育て支援ネットワークづくり (13)子育て環境の整備(☆)

主要施策 **保健・医療** 

個別施策 (14)母子保健の充実 (15)休日・夜間診療の充実 (16)健康等に関する相談窓口の充実 (17)健康づくりの推進 (18)救急医療体制の整備の推進(☆)


主要施策 **人材・コミュニティ** 

個別施策 (19)地域を牽引する人材の育成(◎) (20)「親の学習」の推進 (21)多文化共生に向けた人材育成(◎) (22)多世代連携による子ども達への支援充実 (23)市民協働の推進(◎) (24)世代間交流の推進 (25)多文化共生の推進


基本戦略Ⅲ 持続可能で安心した暮らしができるまち 【まち】

若い世代を含めたあらゆる世代の定住を促進するためには、雇用の確保、子育て環境の充実を図ると同時に、住みたい、住み続けたいと思う魅力あるまちづくりの推進が重要です。そのため、まちなか再生の推進、安全・安心に資するインフラの整備、防災対策の推進及びSDGsの達成に向けた取組など、賑わいと魅力ある安全・安心な都市環境の形成を推進します。

数値目標	基準値	目標値
20~39歳の純移動者数※5	-70人(平成30年)	0人(転入・転出均衡)(令和4年)

主要施策 **まちづくり** 

個別施策 (26)駅周辺等の整備(●) (27)空き家対策等の推進 (28)交通安全・防犯活動の推進 (29)多世代同居・近居の推進


主要施策 **インフラ整備** 

個別施策 (30)子育て世代ニーズに応える公園施設の充実 (31)公共交通の充実 (32)夜間のおけるまちの安全確保 (33)都市・居住環境の向上


基本戦略Ⅳ 誰もが知っていて、訪れたい、住み続けたいまち 【魅力創造】

地域を持続的に発展させるためには、市民が本市に「愛着」や「誇り」を持ち、また、多くの人が本市に魅力を感じ、訪れ、リピーターとなるよう地域の魅力を創造し、情報発信を強化することが重要です。そのため、「シティプロモーションの推進」を重点とし、地域資源の掘り起こしや地域への参画向上など、これまでの取組を加速するとともに、移住・定住を促進するための各種支援を推進していきます。また、地域と多様な形で関わり地域課題の解決に資する関係人口の創出・拡大を図ります。

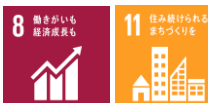
数値目標	基準値	目標値
観光入込客数	722,771人(平成30年)	750,000人(令和4年)
住みよさランキング※6	埼玉県内4位(令和元年版)	埼玉県内1位(令和4年版)

主要施策 **シティプロモーション** 

個別施策 (34)市の認知度の向上 (35)関係人口の創出・拡大(◎) (36)スポーツ・レクリエーションイベントの開催 (37)文化財の保存活用啓発

主要施策 **観光** 

個別施策 (38)観光拠点の整備(☆) (39)観光の推進(●)

主要施策 **移住・定住** 

個別施策 (40)移住・定住に向けた住宅支援 (41)U・Jターンの促進 (42)本庄早稲田の杜づくり(◎) (43)郷土愛の醸成 (44)本市への愛着度向上 (45)新幹線の活用

※4 人口動態統計の母の年齢別出生数及び1月1日現在住民基本台帳の15歳から49歳までの日本人女性人口により算出  
 ※5 外国人を含む年間純移動者数 ※6 東洋経済新報社「都市データパック」による